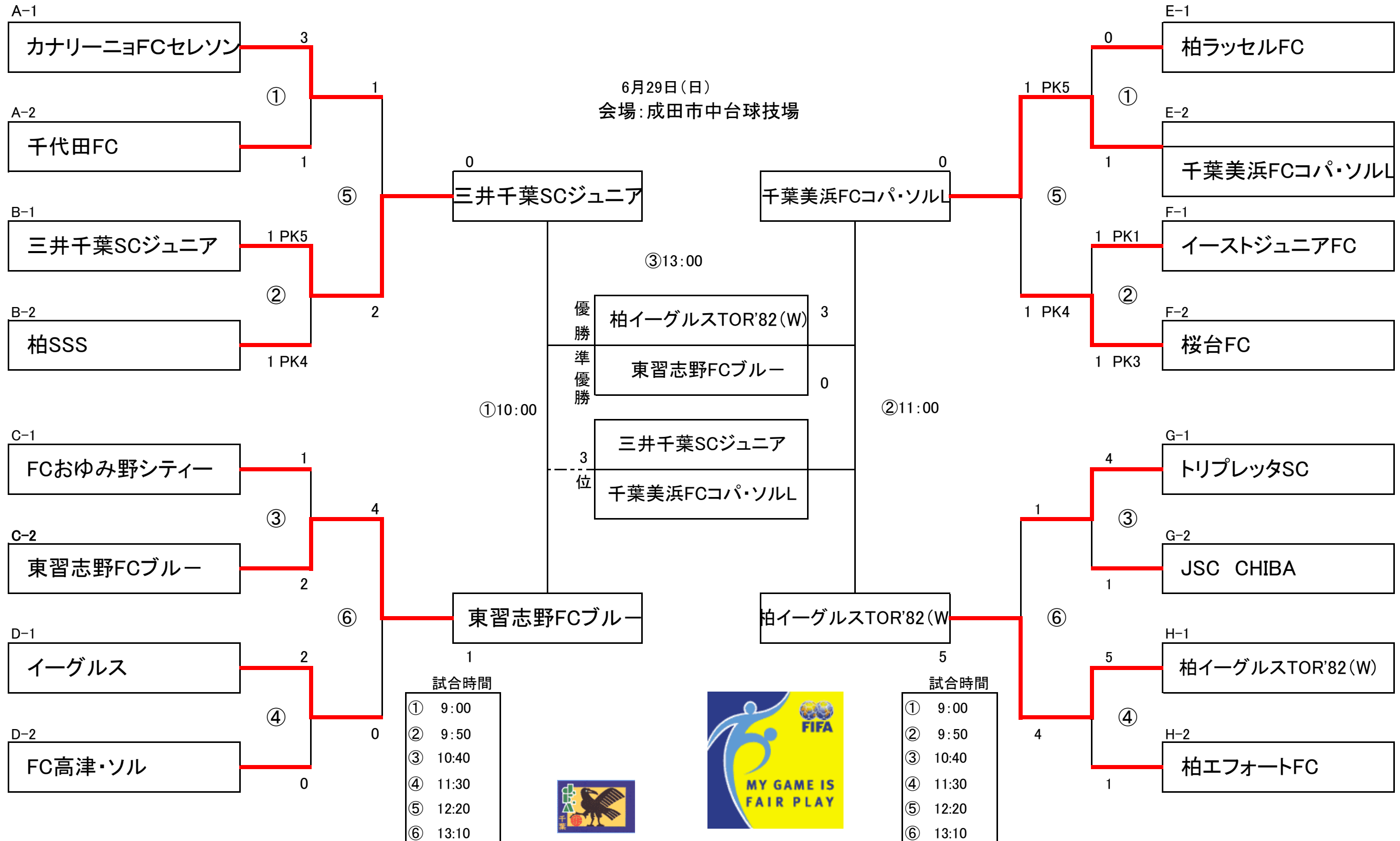


第23回千葉県少年サッカー選手権(4年生大会)

6月15日(日)
会場: 四街道市総合公園 多目的運動場 A面

6月15日(日)
会場: 四街道市総合公園 多目的運動場 B面



第23回千葉県少年サッカー選手権4年生大会

戦評

2008年6月29日 10:00 キックオフ

●準決勝第1試合

三井千葉SCジュニア 対 東習志野FCブルー

0 (0-0、0-1) 1

2008年6月29日雨脚が激しくなる中、東習志野のキックオフで試合が開始され、天然芝のピッチにはいくぶん水が浮き出していた。

立ち上がりから両チームは互いに持ち味を出しボールへのプレスが早い状況の中、東習志野は6番の三木君を中心にFW10番の大谷君をターゲットにした攻撃が早い、一方、三井千葉も10番の長沢君を中心に攻撃を組み立て、一進一退の攻防の中前半終了の笛が鳴る。

後半開始1分、東習志野は立て続けにコーナーキックを得る、その2本目キッカー6番三木君のボールに10番の大谷君が頭で合わせファインゴール、東習志野が先制点を得る。

直後、三井千葉も立て続けにコーナーキックを得るが決定機を作れない、又三井千葉9番里見君、11番菊池君の個人技で突破を試みるが、東習志野の固い守りでなかなかチャンスに到らない、その後両チームともに激しい攻防を繰り広げるが思うように走らないピッチに最後のチャンスメイクが出来ない中、試合終了の笛。

東習志野が決勝戦への切符を勝ち取った、両チームとも気迫溢れるプレーを展開し実に見ごたえのある試合であった。

(5ブロック 技術委員 羽野芳生 記)

6月29日(日) AM 11:00 キックオフ

準決勝第2試合

柏イーグルス TOR '82 (W) VS 千葉美浜 FC コパソル L

5 (2-0、3-0) 0

(前半)

第1試合より更に雨足が強まり、芝に水が浮き重いピッチコンディションの中コパソルのキックオフで試合開始、両チーム慣れないグラウンドコンディションの中バランスを崩し転倒する場面が多く、中々ボールが思うように前に運べない状況が続く中イーグルスの右サイドが接極的に崩しにかかりコパソルディフェンスがたまらずファール6分・9分立て続けにイーグルス右サイドからフリーキックのチャンスいずれもゴール枠を捉えられない、13分更に攻撃を仕掛けイーグルス9番(松本君)からのセンタリングに、重いグラウンドでのコパソルDFのクリアミスで裏に抜け出した10番(間中君)が蹴りこみ待望の先制点を上げる、防戦一方のコパソルもチャンスを伺うが中々前線にボールが入らない状態、17分イーグルス17番(小林君)ペナルティエリア内ドリブルで仕掛けディフェンス2人を振り切り落ち着いて右スミに決め2点目を上げる

(後半)

攻撃の糸口がつかめないコパソルが立ち上がり接極的に前線にボールを送るがことごとく重いグラウンドでボールが失速、両チーム共中盤でボールが動かず一進一退の攻防が続く10分局面を打開すべくコパソル43番(伊勢君)投入13分過ぎイーグルス4番(遠藤君)からのパスを9番(松本君)フリーで決め3点目、たたみ掛けるイーグルスがゴール前混戦からこぼれ球を17番(小林君)今自身2点目を押し込む15分イーグルス一挙に8人メンバー交代、終了間際19分イーグルス14番(海老原君)がゴール前からシュート8番(小菅君)が反応し落ち着いてゴールを決めタイムアップ、5-0でイーグルスの勝利、順当に決勝戦にコマを進める。グラウンドコンディションが悪い中イーグルスの個人技で局面を打開出来る能力、ゴールに向かう姿勢、状況判断力がコパソルより上回りほぼ年代での目標は達している内容であった。

(5ブロック技術委員 藤野義博 記)